

北海道新聞（函館版）2007年（平成19年）11月14日（水）

（提供：（財）函館地域産業振興財団 様）

迅速な細菌検査法紹介

食の安全性確保で発表会

「食品の安全性確保のための新規な微生物検査法」の研究発表会が十三日、函館ハーバービューホテルで開かれた。文部科学省の「都市エリア産学官連携促進事業」を道内で実施する函館地域産業振興財団と十勝圏振興機構が主催し、食品製造関係者ら約八十人が参加した。

食品の安全性確保に不可欠な細菌検査の迅速化に関する研究がテーマで、函館と十勝の研究開発事例二例が発表された。

函館地域産業振興財団バイオテクノロジ科の大坪雅史さんは、それぞれの固有の遺伝子情報を利用して細菌を検出する方法の研究内容を報告。



従来の培養法では二、三日かかる検査時間を数時間に短縮できるといい、「将来的に簡易検査キットなど商品化までこぎつた研究発表会」

「将来的に簡易検査キットなど商品化までこぎつきたい」と話した。（内本智子）